

詰将棋作品集①

まえがき

作品集を出すことは私にとって、創作をはじめた当初からの夢だった。若島正氏の『恋唄』や上田吉一氏の『極光』のようなすごいものは一生かかってもできないだろうけど、自分の納得のいく作品をなんとか100局そろえて、自費出版でも…。そんなこんなで、実は創作している時間よりも、発表している作品を管理している時間の方が長かったりして（笑）。

というわけで夢をかかえて創作してきたのだが、最近、あまりにも遠い道程であるため、意欲が薄れてきてしまっている。100局もそろえるのは相当な根気がいりそうだと気付いたのはごく最近のこと。そういえばあの天才山田康平氏でさえ作品集を上梓するまでには10年かかっている。飽きっぽい性格の私にそこまで頑張ることができるはずもないではないか。考え込んでしまった私だが、そこで妙手（文字どおりの意味。妙な手）を思いつく。100局まとめてそろえるのは無理にしても25局くらいで小冊子を作ればいい。それならばある程度先が見えるので、なんとか頑張れそう。

こういう安易な理由でこの超ミニ作品集が生まれた。一応データらしきものを記しておく、平成5年2月から平成7年2月までの約2年間に発表した40局弱から25局選んだもので、手数は7手～49手。作品配列に特に規則性はなく、『この辺にこの作品を…』という感じで並べている。平均手数とか平均使用駒数とかは一時期ちゃんと計算していたが、あまり意味がないのでやめた。

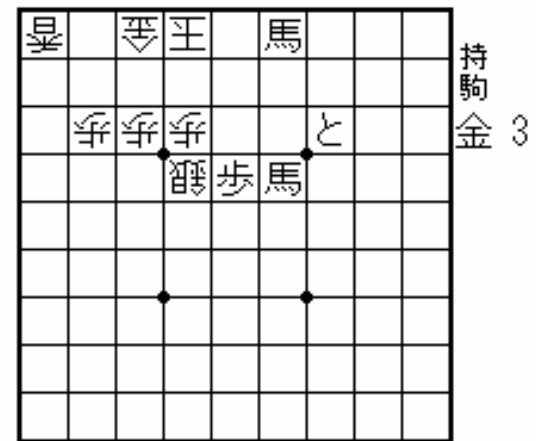
なにとはともあれ、私にとってはどれもかわいい子供ばかり。ご笑覧いただければ幸甚に思う。

平成7年5月

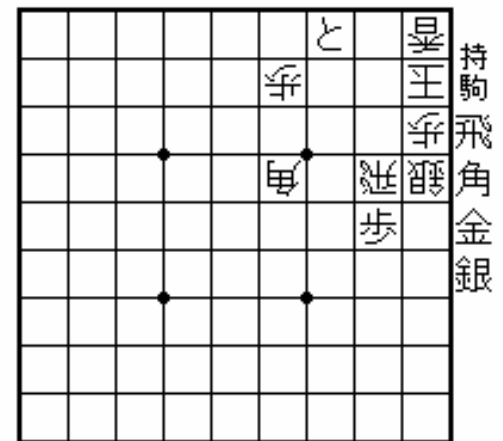
市島 啓樹

作品の部

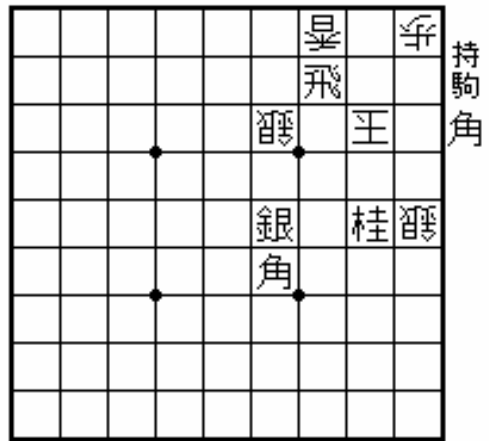
第1番



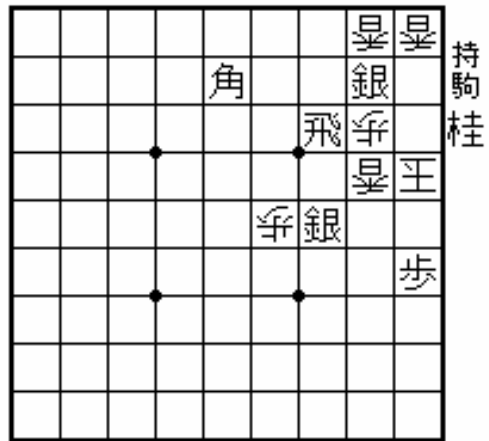
第2番



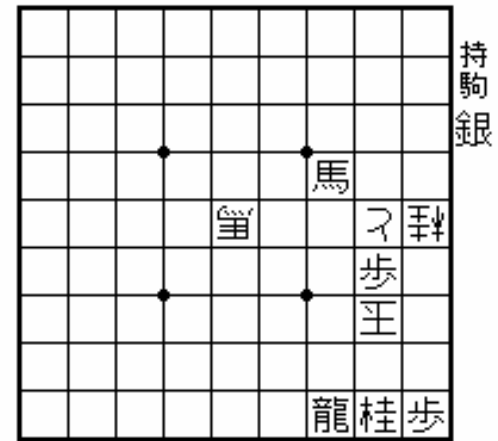
第3番



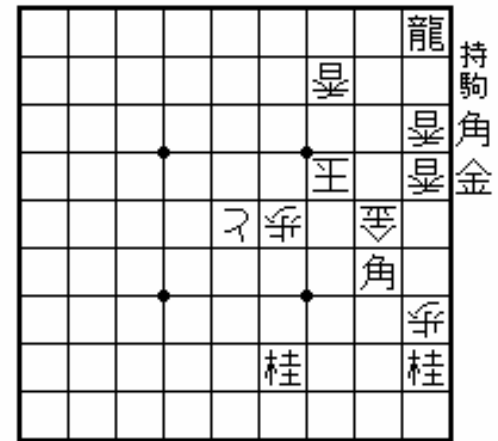
第4番



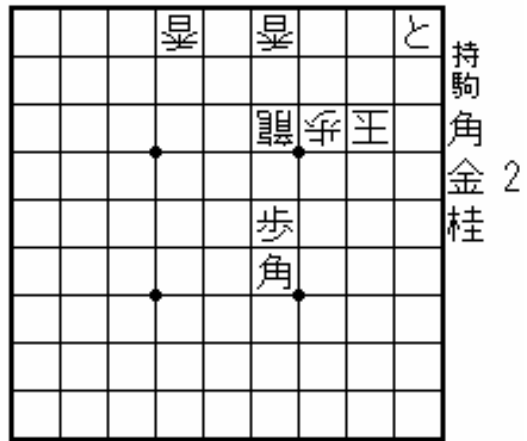
第5番



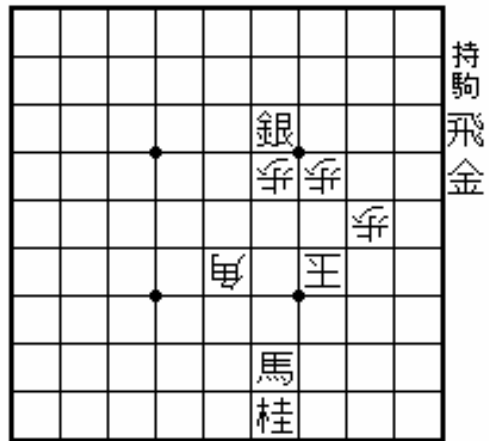
第6番



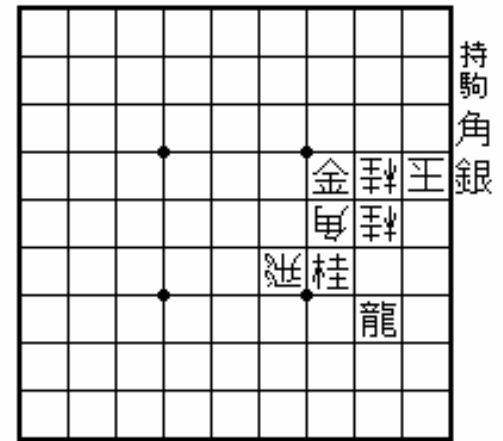
第7番



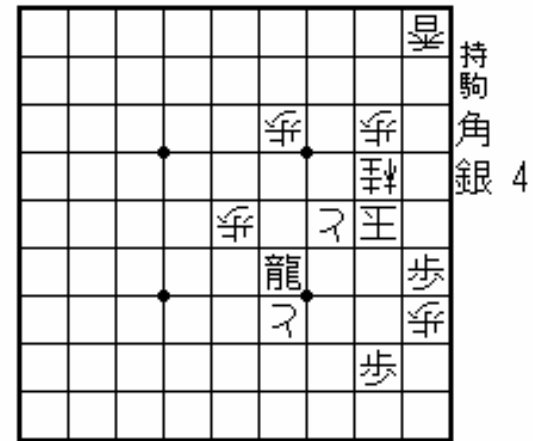
第8番



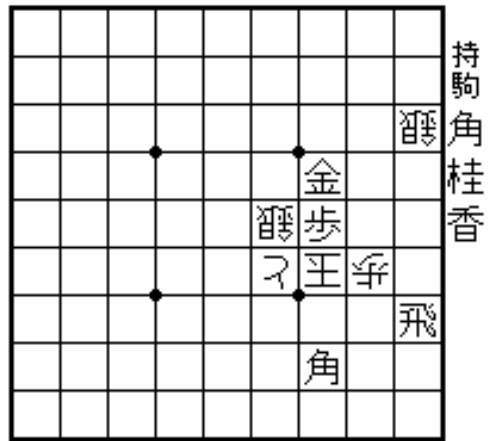
第9番



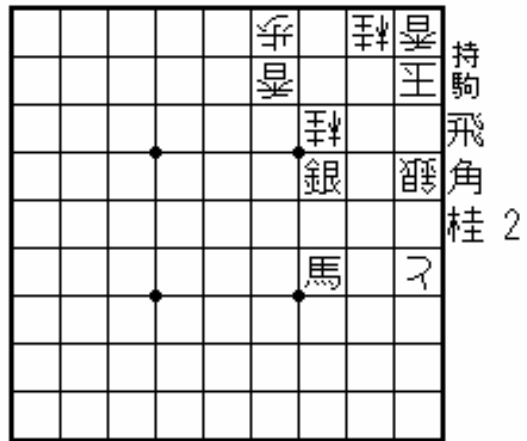
第10番



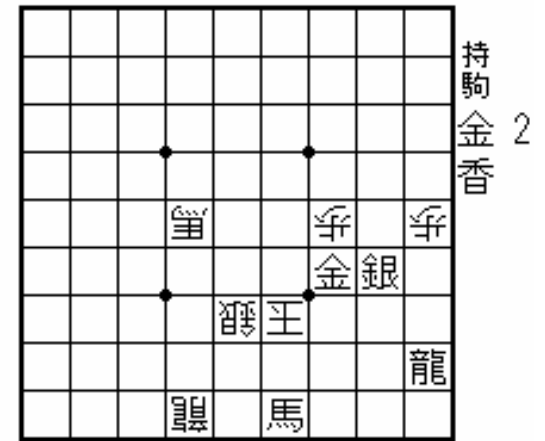
第11番



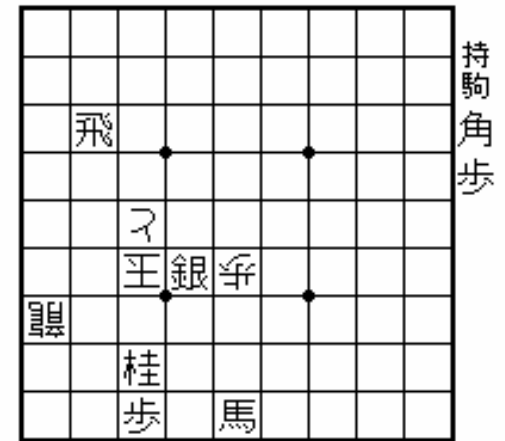
第12番



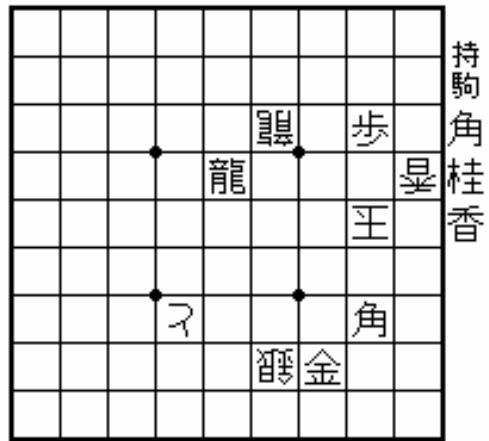
第13番



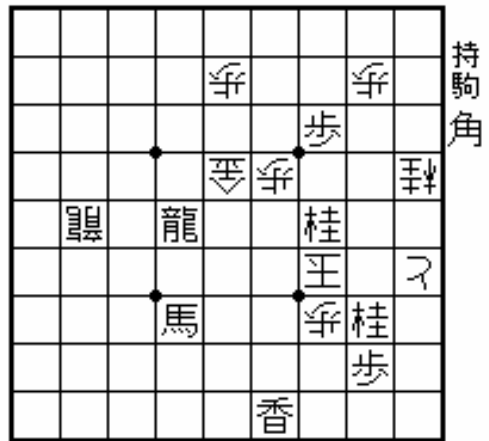
第14番



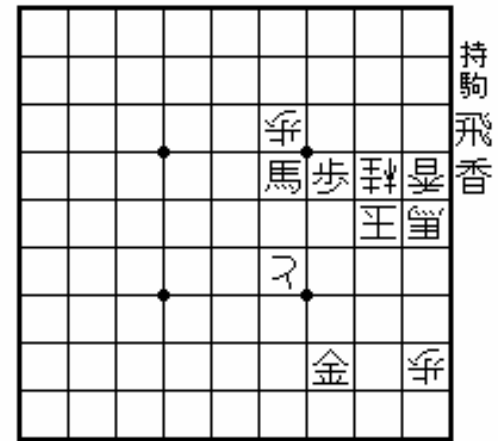
第15番



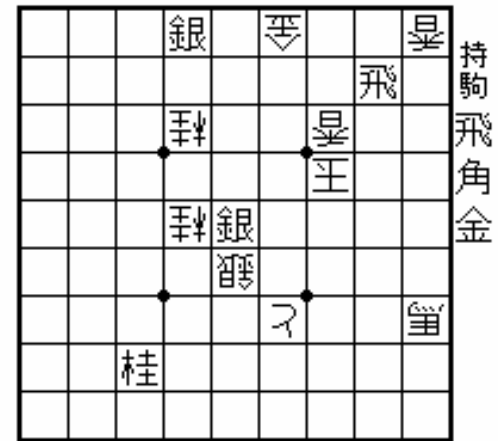
第16番



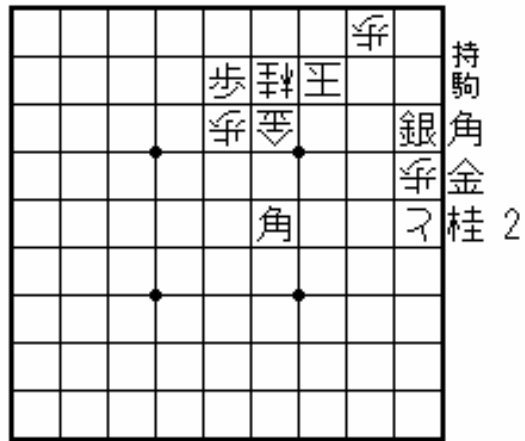
第17番



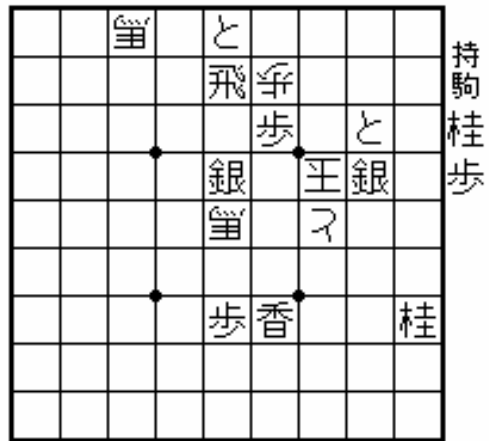
第18番



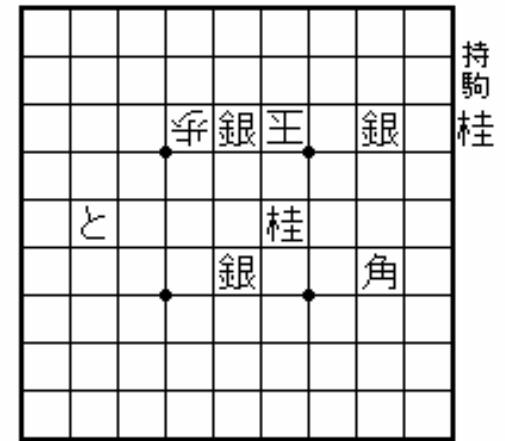
第19番



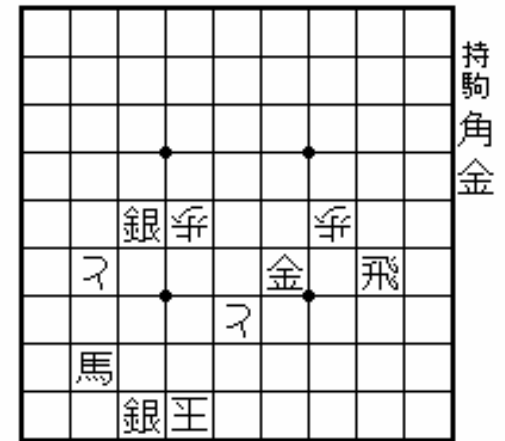
第20番



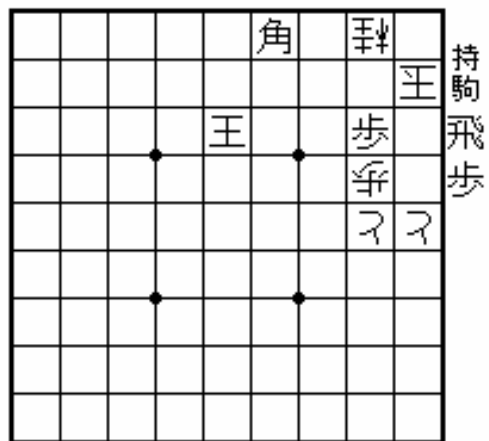
第21番



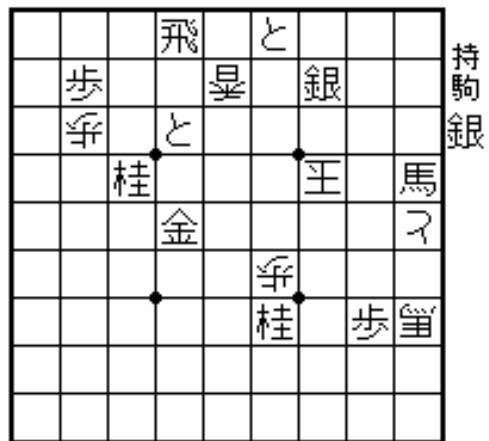
第22番



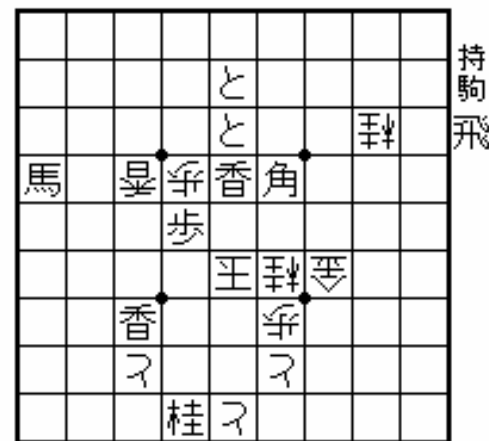
第23番



第24番



第25番



『風の坂道』